

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 CKD株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 6407 URL <http://www.ckd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 一典  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 舟橋 典孝 (TEL) 0568-74-1006  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	84,615	26.9	9,068	47.9	9,206	46.5	6,383	44.8
29年3月期第3四半期	66,683	4.7	6,129	9.6	6,285	11.7	4,408	17.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 8,560百万円 (129.3%) 29年3月期第3四半期 3,732百万円 (6.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	103.10	—
29年3月期第3四半期	71.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	123,505	77,518	62.7
29年3月期	106,361	70,957	66.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 77,412百万円 29年3月期 70,957百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	14.00	—	16.00	30.00
30年3月期	—	17.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	114,700	22.0	12,300	28.4	12,300	25.9	8,600	23.6	138.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期3Q	68,909,449株	29年3月期	68,909,449株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	6,993,666株	29年3月期	6,992,734株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期3Q	61,916,282株	29年3月期3Q	61,917,012株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8
〔生産、受注及び販売の状況〕	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善が続いたことから、個人消費は堅調に推移し、緩やかに回復いたしました。

企業収益は輸出の拡大による売上増加や円安基調により改善が進み、設備投資は労働人口減少に対応する合理化・省力化投資の進展に生産能力増強に向けた投資も加わり、拡大いたしました。

また、海外経済は、米国では雇用情勢の改善が持続したことにより個人消費は堅調に推移いたしました。欧州では金融緩和策などから回復に向かいました。中国では政府の抑制策によりインフラ投資の伸びに鈍化はあったものの、個人消費が下支えし底堅く推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高84,615百万円（前年同四半期比26.9%増）、営業利益9,068百万円（前年同四半期比47.9%増）、経常利益9,206百万円（前年同四半期比46.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6,383百万円（前年同四半期比44.8%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ① 自動機械部門

自動包装システムでは、薬品自動包装システムの売上が減少いたしました。

その結果、売上高は11,442百万円（前年同四半期比4.0%減）、セグメント利益は研究開発費の増加及び第2四半期連結会計期間に発生した保守点検費用の影響もあり629百万円（前年同四半期比48.7%減）となりました。

#### ② 機器部門

国内市場では、微細化や3Dメモリーへの投資が続く半導体製造装置向け、内外需ともに好調な工作機械向けやFPD製造装置向けの売上が増加いたしました。

海外市場では、半導体の設備投資が好調な韓国、情報通信機器や二次電池に加えて自動化などの設備投資が続く中国を中心に売上が増加いたしました。

その結果、売上高は73,172百万円（前年同四半期比33.6%増）、セグメント利益は11,711百万円（前年同四半期比52.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ17,143百万円増加の123,505百万円となりました。これは主に、現金及び預金が減少したものの、売上債権、たな卸資産、有形固定資産及び投資有価証券が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ10,582百万円増加の45,986百万円となりました。これは主に、未払法人税等及び未払賞与が減少したものの、仕入債務、借入金、賞与引当金及び繰延税金負債が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ6,561百万円増加の77,518百万円となりました。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ4.0ポイント減少の62.7%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績及び、半導体の設備投資増加や自動化への設備投資など、国内外ともに機器の受注環境が好調に推移すると見込まれるため、平成29年10月30日に発表いたしました通期業績予想を上方修正いたしました。

なお、本年1月から稼働した新基幹システムへの移行に伴い一部生産遅延が出ており、その影響を考慮しております。また、平成30年1月1日から平成30年3月31日までの期間における為替レートは1米ドル110円を前提としております。

## 平成30年3月期 通期 連結業績予想数値の修正

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想 ( A )	百万円 110,000	百万円 11,800	百万円 11,800	百万円 8,300
今回修正予想 ( B )	114,700	12,300	12,300	8,600
増減額 ( B - A )	4,700	500	500	300
増減率 ( % )	4.3	4.2	4.2	3.6
(参考) 前期実績 (平成29年3月期)	94,012	9,580	9,771	6,958

この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

なお、該当予想数値の修正に関する事項は、本日（平成30年1月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」にも記載しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,336	12,143
受取手形及び売掛金	23,758	25,497
電子記録債権	3,693	5,804
営業未収入金	263	245
有価証券	1,000	—
商品及び製品	5,526	8,865
仕掛品	3,956	3,864
原材料及び貯蔵品	14,472	19,619
その他	2,976	2,799
貸倒引当金	△99	△115
流動資産合計	68,883	78,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,517	12,553
その他(純額)	15,544	18,993
有形固定資産合計	27,062	31,547
無形固定資産		
投資その他の資産	8,658	10,578
固定資産合計	37,477	44,781
資産合計	106,361	123,505
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,774	17,589
電子記録債務	1,385	2,048
短期借入金	1,352	4,486
1年内償還予定の社債	—	62
未払法人税等	2,406	839
賞与引当金	227	1,526
その他の引当金	346	480
その他	9,152	9,342
流動負債合計	29,645	36,374
固定負債		
社債	—	209
長期借入金	2,250	4,977
その他の引当金	75	161
退職給付に係る負債	258	375
その他	3,173	3,887
固定負債合計	5,758	9,611
負債合計	35,403	45,986
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	12,372	12,383
利益剰余金	49,723	54,054
自己株式	△4,906	△4,907
株主資本合計	68,206	72,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,653	3,747
為替換算調整勘定	1,323	2,216
退職給付に係る調整累計額	△1,225	△1,097
その他の包括利益累計額合計	2,751	4,865
非支配株主持分	—	106
純資産合計	70,957	77,518
負債純資産合計	106,361	123,505

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	66,683	84,615
売上原価	46,496	57,979
売上総利益	20,187	26,635
販売費及び一般管理費	14,057	17,567
営業利益	6,129	9,068
営業外収益		
受取利息	19	12
受取配当金	115	129
為替差益	—	43
その他	259	320
営業外収益合計	394	506
営業外費用		
支払利息	29	51
売上割引	106	115
持分法による投資損失	—	47
デリバティブ評価損	32	99
為替差損	35	—
その他	34	53
営業外費用合計	238	368
経常利益	6,285	9,206
特別利益		
固定資産売却益	3	3
投資有価証券売却益	182	76
負ののれん発生益	—	149
補助金収入	55	6
特別利益合計	241	236
特別損失		
固定資産売却損	4	3
固定資産除却損	16	63
固定資産圧縮損	54	6
環境対策費	—	85
特別損失合計	75	159
税金等調整前四半期純利益	6,450	9,282
法人税、住民税及び事業税	1,978	2,427
法人税等調整額	63	416
法人税等合計	2,042	2,843
四半期純利益	4,408	6,439
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	55
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,408	6,383

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	4,408	6,439
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△530	1,093
為替換算調整勘定	△267	896
退職給付に係る調整額	122	127
持分法適用会社に対する持分相当額	—	2
その他の包括利益合計	△675	2,121
四半期包括利益	3,732	8,560
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,732	8,498
非支配株主に係る四半期包括利益	—	62

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,920	54,762	66,683	—	66,683
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	72	72	△72	—
計	11,920	54,835	66,755	△72	66,683
セグメント利益	1,226	7,669	8,895	△2,765	6,129

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,765百万円には、セグメント間取引消去24百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,790百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにC K Dグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,442	73,172	84,615	—	84,615
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	65	65	△65	—
計	11,443	73,237	84,680	△65	84,615
セグメント利益	629	11,711	12,340	△3,272	9,068

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,272百万円には、セグメント間取引消去25百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,297百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにC K Dグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

第1四半期連結会計期間より、日機電装株式会社(平成29年6月1日付でC K D日機電装株式会社に商号変更しております。)の株式を取得し連結子会社としたことにより、「機器部門」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間に負ののれん発生益149百万円を計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含めておりません。

## 3. 補足情報

〔生産、受注及び販売の状況〕

## (1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
自動機械部門	14,162	+4.2
機器部門	75,528	+38.5
合計	89,691	+31.6

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2. 金額は、販売価格によっております。  
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
自動機械部門	11,431	△18.5	10,571	△20.2

- (注) 1. 自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
自動機械部門	11,442	△4.0
機器部門	73,172	+33.6
合計	84,615	+26.9

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。